

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		有害化学物質については許可のある業者に委託して適切な廃棄を行っている。魚の加工時に出る廃棄物については肥料用への転用目的の業者に引き取りを依頼している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		冷凍保管庫の機械の更新など営業設備のエネルギー使用量削減に取り組んでいる。 簡易計算シート等をを用いて使用量を計算し使用量の把握を実施している。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		冷凍保管庫の機械の更新など営業設備のCO2排出量削減に取り組んでいる。 簡易計算シート等をを用いて排出量を計算し排出量の把握を実施している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		地元漁業と協力し養殖場の海底土壌調査と検討会を実施している。自社の生産活動が環境破壊につながらないよう環境に配慮した生産を行っている。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		段ボールや発砲スチロールの再利用を促進し、電子請求書の活用で紙の使用量を減らす取り組みをしている。 生ごみについても肥料用への転用により焼却するごみの量の削減に取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5			14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		水産加工場を運営しているため水の使用量が多いため、工場において節水に取り組み、排水についても適切な処理を行い定期的な浄化槽の検査も実施している。		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		環境に配慮した製品を購入するように努め、極力資材のロスが出ないよう指導している。										9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		美味しいものはロスが少なくなる。鮮度管理を撤退し鮮度よく安心安全に美味しく食べて頂ける食品の製造を心がけている。また、製品開発においても加工後に廃棄にまわるような部位を有効活用できる商品の開発に取り組んでおり弊社の人気商品となっている。	1	2					6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7			13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		冷凍保管庫の機械の更新や老朽化した断熱材や扉の交換によりエネルギー効率の良い機器を導入している。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		地元漁協と連携し海岸の清掃活動などに参加している。														12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		社用車の一部をPHEV車を採用して。トラックも低排出ガス車を採用している。											9.4			11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●											7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2

